

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-3 高齢者福祉の推進
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	高齢者福祉課長 稲田 勝	電話番号	0852-22-5236
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	ケアマネジャー総合支援事業		
目的	(1) 対象	介護支援専門員	
	(2) 意図	適切なサービスが提供できる状態にする。	
事業概要	介護支援専門員の育成・支援を図るため、実務研修受講試験、名簿管理及び介護支援専門員証の交付、資質向上研修等を実施する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 介護支援専門員実務研修修了者数	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	人
		取組目標値						
	式・定義 介護支援専門員実務研修修了者数/実務研修試験合格者数	実績値	97.6					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	27,983	16,777
うち一般財源(千円)	14,196	16,777

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

○各研修の受講者数	(27年度)	(26年度)
・介護支援専門員実務研修	132人	239人
・介護支援専門員現任研修	529人	513人
・主任介護支援専門員養成研修	45人	33人

6. 成果があったこと(改善されたこと)

各種研修の受講者数について、実務研修にあっては試験合格者数の減少により前年度に比べ減少したが、現任研修及び主任介護支援専門員研修にあっては前年度を上回る受講者を確保することができた。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
合格者の中に実務研修を受講しない者がいる
- ②困っている状況が発生している「原因」
研修日程
自己都合
- ③原因を解消するための「課題」
試験合格から介護支援専門員登録までの流れの周知
実務研修日程の早期周知

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

介護支援専門員実務研修試験合格者が、実務研修を受け登録されるよう当該合格者に対し受講を勧奨することにより、介護支援専門員の養成を促進する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)